

本日、ここに平成25年第3回市議会定例会9月会議が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案をいたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、通年議会についてであります。

今定例会より、議会改革の一環として、県内の市議会では初となる通年議会が導入され、災害など突発的な事案や緊急を要する課題に素早く対応できる体制が確立されたところであります。行政運営には、常にスピード感が求められており、このような取組みは、執行部といたしましても大いに歓迎するものであり、今後、より一層、機能的で活発な議会運営を期待するものであります。

次に、親善友好都市への訪問についてであります。

7月の初旬に8日間の日程で、ドイツ・ラウンハイム市とイギリス・ボストン町を訪問いたしました。

ラウンハイム市では、トーマス・ユーヘ市長をはじめ、多くの市関係者による交流会が盛大に行われ、持参いたしました乾杯用の白山菊酒は、「さわやかで飲みやすい」と、大変好評であり、本市の魅力を大いに発信できたのではないかと感じているところであります。

近郊の「アイフェル火山地帯」では、その美しい景観と雄大さに、大変、感銘を受け、整備状況や運営方法についても、世界ジオパークを目指す本市にとりまして、大変参考になるものであります。

また、ボストン町では、町長とお会いし、姉妹都市として、末長い友好関係を約束してまいりました。現地へ赴き直接お会いすることで、さらなる友好の深まりを実感することができました。

今回の訪問は、本市にとりまして、大変有意義なものであり、今後の市政に有効に活かしてまいりたいと考えております。

次に、最近のわが国の経済情勢についてであります。

景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられるところあります。また、先行きにつきましては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が現れるなか、企業収益の改善が家計の所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されております。しかしながら、海外景気の下振れが、引き続き景気を下押しするリスクとなっております。

このような中、本市におきましては、地域経済の活性化、税収の確保、雇用の拡大を図るため、8月26日より山島工業団地の分譲を開始いたしました。

早期完売を目指し、東京事務所ともタイアップしながら、積極的な誘致活動を展開し、製造業、先端技術産業、情報提供サービス業を中心とした優良企業の立地に努めてまいりたいと考えております。

次に、本市の平成24年度の一般会計決算につきましては、実質収支額がおよそ11億円の黒字となりました。

決算に基づく主な財政指標につきましては、前年度より、経常収支比率が95.6%から93.0%に、実質公債費比率が18.4%から16.7%に、将来負担比率が165.4%から150.9%に、いずれも改善いたしました。

なお、実質公債費比率が18%未満となったことから、起債の許可団体から協議団体へ移行したところであります。

また、観光事業特別会計につきましては、平成24年度をもって、繰上充用金が全額解消され、経営健全化計画が完了したところであります。

今後とも、行政コストの見直しを図るとともに、市税収入の安定確保に積極的に取り組み、健全財政に努めてまいる所存であります。

それでは、最近の市政の状況についてご説明申し上げます。

はじめに、豪雨災害についてであります。

この夏は、猛暑の影響もあり、市内のいたる所で局地的な豪雨に見舞われました。

7月29日に白山ろく地域を襲った大雨は、24時間雨量が、白山吉野、白山白

峰の両地点で、7月の観測史上最多を記録いたしました。

また、8月21日の朝には、1時間の雨量が71ミリもの、ゲリラ豪雨が鶴来地域を襲い、8月23日の夕方には、松任地域でも集中豪雨が発生いたしました。

市道や林道など、土砂崩れによる被害が多数発生し、現在、鋭意、復旧に努めておりますが、自主避難や床下浸水など、被害に遭われました方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害を教訓とし、今後、より一層、迅速な対応を心がけるとともに、さらなる防災意識の向上と防災対策の充実強化に努めてまいりたいと考えております。

次に、北陸新幹線（仮称）白山駅の実現に向けた取組みについてであります。

白山駅建設期成同盟会では、この取組みを多くの皆様に発信するため、ロゴマークを活用した「めざせ白山駅」の電柱広告を、市内各所に設置いたしました。

また、若い世代の皆様にも広く、「白山駅」の有用性を理解していただけるよう、北陸新幹線の副読本を作成し、市内の小・中学生に配布するなど、新駅実現に向けた積極的なPR活動を展開しているところであります。

7月30日には、「新幹線白山駅をつくろう会」から、個人、企業を合わせ、1万7,000件余りの署名が提出され、皆様の熱意をしっかりと受け止めさせていただきました。

こういった、ひとり一人の熱き思いが大きな力となり、先般、加賀地区開発促進協議会において、国への要望項目に「金沢・小松間の新駅設置」が盛り込まれ、また、8月10日に開催された北陸新幹線建設促進県民会議においても、「金沢駅と小松駅の間には新駅を設置すること」の決議がなされたところであります。

白山駅の実現に向けた運動が、さらに大きく動き出し、全県的な取組みとなったことを、心強く感じており、今後の要望活動の弾みとなることを確信いたしております。議員各位、並びに市民の皆様におかれましては、引き続き、ご支援とご協力をお願いする次第であります。

次に、合併10周年記念事業についてであります。

本市は、平成27年2月1日に合併10周年を迎えることとなります。

節目となるこの機会をとらえ、一体感の醸成と未来への飛躍につながる記念事業を計画してまいりたいと考えております。

本市の魅力を効果的に発信するとともに、市民の皆様に「ふるさと白山」への愛着を深めていただく契機となるよう事業の展開を目指しております。多くの皆様に参加していただけるよう、今後、庁内に推進本部を設置し、全庁体制で取り組んでいくこととしております。

次に、行財政改革の取組みについてであります。

まず、公立保育所の民営化につきましては、美川保育園及び美川幼稚園において、このほど、関係者との協議が整い、地元有志の方々が設立する「(仮称)社会福祉法人美川福社会」により、来年4月から、本市初の「認定こども園」が開園することとなりました。また、富光寺保育所につきましても、「学校法人鶴来学園」が、新たに「(仮称)社会福祉法人鶴来愛環会」を設立し、来年4月から運営することで、地域の合意が得られたところであります。

次に、公立の児童館、児童センターの今後の管理運営方針については、このほど提出されました「白山市児童館運営委員会」の答申を受け、指定管理者制度の導入を基本としつつ、民営化への移行にも、柔軟に対応していくこととしております。

施設のあり方についても、保育所併設の児童センターにおいては、本来の目的に適うよう、分離した施設とするのが望ましく、また、周辺に、児童の増加が見込まれる場合は、放課後児童クラブを検討することも必要であると考えております。

さらに、児童館についても、活動スペースが手狭で、施設利用に支障を来している場合は、新たに、単独施設としての整備が必要であると考えており、今後とも、児童館、児童センターにつきましては、市全体の適正な配置を考慮しながら、安全で安心な子育て拠点施設として、さらなる機能の充実に努めてまいりたいと考えております。

次に、「松任海浜温泉など5つの市民温泉」についてであります。このほど、指定管理者を一括で全国公募いたしました。民間事業者の参入によるサービスの向

上と、より効率的な運営を目指すものであり、来年4月からの新たな運営を予定しているところでもあります。

また、「シーサイド松任」など、今年度末に指定管理期間が更新となる宿泊施設については、全国公募により指定管理者を決定することとしており、「松任文化会館」や「鶴来総合文化会館」につきましても、民間事業者のノウハウを活かした運営が必要であると考えており、公募の準備を進めているところでもあります。

次に、地域コミュニティの中核施設である公民館につきましても、このほど、年次別の整備計画案を取りまとめたところであり、増改築や一定規模以上の修繕については、今後、計画的に実施していくこととしております。

行財政改革の推進につきましても、今後も、より一層の情報開示に努めるとともに、持続可能な行財政基盤の確立を図ってまいりたいと考えている所存であります。

次に、金城大学（仮称）看護学部の新設についてであります。

金城大学は、現在、社会福祉学部、医療健康学部の2つの学部を有しており、介護、福祉、医療の分野で有能な人材を輩出し、多くの卒業生が地域の医療福祉に貢献いたしております。

開学以来、市民向けの講演会や公開講座、高齢者の健康増進教室など、積極的に地域貢献を図っており、平成23年度には、本市との間で包括連携協定を締結したところでもあります。

看護師不足が社会的な問題となる中、「地元への看護人材の供給」といった地域の要請もあり、このほど、大学側では、看護学部を新設する運びとなりました。本市といたしましても、定住促進や若者による賑わい創出にもつながるため、積極的に支援してまいりたいと考えているところでもあります。

次に、観光事業の推進についてであります。

このほど、北陸新幹線金沢開業に向けた「白山ブランドPR戦略実行プラン」が策定され、平成25年度から3か年を重点期間として、集中的に事業を展開することとしております。

本年度は、開業PRイベントの第一弾として、10月20日にJR松任駅南広場を主会場に、「加賀・越前 白山の恵みグルメフェスタ」が開催される運びとなっております。白山菊酒をはじめ、地元の旬の食材やスイーツなどを一堂に集め、1万人以上の来場者を見込んでおり、機運の盛り上がり期待されます。

また、11月初旬には、東洋大学の「白山祭」に観光PRブースを出展し、首都圏の「白山ゆかりの地」において、知名度アップのキャンペーンを行うこととしており、さらに、来年6月には、同じ文京区内の白山神社において、「文京あじさいまつり」にも出展する計画となっております。

首都圏への効果的な情報発信と、認知度を高める積極的な取組みにより、新幹線開業の効果を高めていきたいと考えております。

次に、白峰重要伝統的建造物群保存地区の観光誘客対策についてであります。

重伝建保存地区においては、この7月に、選定後初めてとなる建物の修理修景工事が始まり、歴史的な町並みを蘇らせる整備が進められております。

また、先月末に今後5年間の「観光誘客対策計画」を策定したところであり、今後は、計画の2つの柱である「おもてなし計画」と「古まちなみ計画」により観光産業の確立と誘客を図っていくこととなります。

まず今年度は、公開展示用家屋の調査や駐車場整備などを行うこととしております。

次に、白山・白川郷100kmウルトラマラソンについてであります。

9月29日の開催が間近に迫り、鋭意、準備が進められております。全国各地から多数の参加応募があり、1,500人もランナーが参加することとなりました。スタッフ、ボランティアなど総勢約900人の体制で運営にあたることとしており、実行委員会では、参加の皆さまに、白山の恵みを十分に感じていただき、気持ち良く大会に臨んでいただけるよう、「白山らしいおもてなし」に工夫を凝らしている、とのことでもあります。

次に、世界ジオパーク認定に向けた取組みについてであります。

去る8月11日から13日までの3日間、世界ジオパークの国内推薦に向けた現地審査が行われました。日本ジオパーク委員会の審査員3名による現地視察と聞き取り調査が行われ、私を含めた53名のジオパーク関係者が「水の旅」案内人となり、白山手取川ジオパークの「水の循環」をテーマとした見どころや取組み状況について、詳細に説明させていただきました。

審査員の方々には、概ね好印象を持っていただけたと感じております。9月下旬の審査結果を待ちたいと思っております。

次に、桜の名勝整備事業についてであります。

春からスタートいたしました、桜の里親制度につきましては、6月下旬に松任総合運動公園において、記念植樹を行い、多くの里親が誕生したところであり、今後とも、桜を活かしたまちづくりの輪が広がるようPRに努めてまいります。

また、今年度、市内各所に、集客力の高い、見ごたえのある桜の名勝を整備することとしており、標高差のある本市の特徴を生かし、平野部から白山ろく地域に向かって、1か月以上の期間、順次、満開の桜を觀賞していただけるよう、拠点整備を進めてまいります。

次に、学校の教育環境と就学支援策の充実についてであります。

2学期が始まり、朝日小学校では、地元産スギ材のぬくもりが感じられる新校舎に、子ども達の明るい声が飛び交っており、この26日には関係各位をお迎えし、竣工記念式を開催することとしております。

さらに、6月下旬から整備工事に着手しております明光小学校では、来年4月には、中央棟に吹き抜けの「明光ストリート」を配した新校舎が完成する予定であり、美川中学校におきましても、年明けには新しい校舎で学べるよう、鋭意、工事を進めているところであります。

また、経済的な理由から就学に支障をきたす事がないよう、就学支援策の充実を図ることとしており、従来の小中学校の就学援助費のうち、これまで入学後の8月

に支給していた、制服やランドセル、カバンなど、入学時に必要な学用品にかかる給付を、県内では初となる、入学前の3月に支給できるよう、平成26年3月から実施するものであります。

それでは、提案いたしました諸議案について、ご説明申し上げます。

提出案件は、決算認定14件、補正予算案6件、条例案12件、事件処分案6件、報告案件4件の計42件であります。

はじめに、議案第105号から第118号までの平成24年度の一般会計をはじめとする14会計の決算についてであります。

まず、一般会計並びに観光事業特別会計につきましては、先ほど申し上げましたとおりであります。また、国民健康保険などの特別会計及び水道事業会計などの企業会計につきましては、それぞれの事業目的に沿い、適切な執行に努めた結果、概ね堅実な決算を結ぶことができました。

これも偏に、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご理解、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。今後とも、市民生活の安全・安心を最優先に、多様な行政需要に的確に対応する一方、健全な財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、議案第119号から第124号までの平成25年度補正予算案についてであります。

まず、一般会計につきましては、補正予算額16億5,900万円余となるものであります。その主なものとしましては、総務費では、平成24年度決算剰余金の2分の1相当額、5億4,900万円余を財政調整基金へ積み立てるほか、民生費では、介護保険事業計画策定事業費及び保育士等処遇改善臨時特例事業費を計上し、農林水産業費では、林道災害復旧事業費のほか蔵山農村公園改良事業費を、商工費では、旧中宮温泉スキー場の災害復旧費のほか白山市観光連盟補助事業費を計上するものであります。また、土木費では、国の交付金の追加採択に伴う道路整備事業費を計上し、教育費では、朝日芝生広場整備事業費のほか美川図書館新築事業費を計上いたしております。



特別会計につきましては、国民健康保険特別会計において、退職者療養給付費等交付金の返還金を、介護保険特別会計では、介護給付費準備基金への積立金などを、また、墓地公苑特別会計につきましては、墓地公苑管理基金への積立金などを計上し、温泉事業特別会計では、白峰温泉の源泉コンプレッサー修繕費を、湊財産区特別会計につきましては、決算剰余金の基金への積立金を、それぞれ計上するものであります。

次に、議案第125号から第136号までの条例案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市松任青少年宿泊研修センター条例」につきましては、建物が白山市地域振興公社から市へ無償譲渡されることに伴い、条例を制定するものであり、「松任海浜公園パークゴルフ場条例」につきましては、施設の充実に伴い、利用者から応分の使用料を徴収するため、条例を制定するものであります。また、「白山市延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例」につきましては、平成25年度税制改正による市税に係る延滞金の割合の見直しに伴い、関係条例の一部を改正するものであります。

次に、議案第137号から第142号までの事件処分案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「市道路線の変更及び廃止」につきましては、道路法の規定に基づき、「建設工事請負契約」につきましては、入札結果に基づき、条例の定めにより、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、報告第6号から第9号までの報告案件につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市観光事業特別会計の経営健全化計画による経営の健全化の完了」につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めにより、また、「財団法人未智之里」などの第三セクターの経営状況につきましては、地方自治法の定め

より、それぞれ議会へ報告するものであります。

以上をもちまして、今期定例会 9 月会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願いいたします。